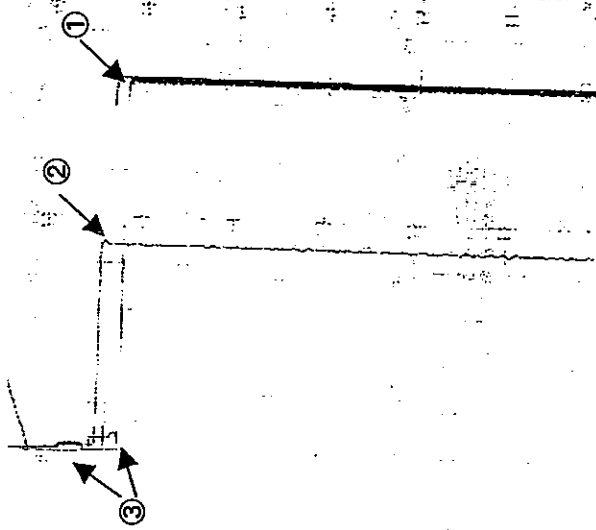


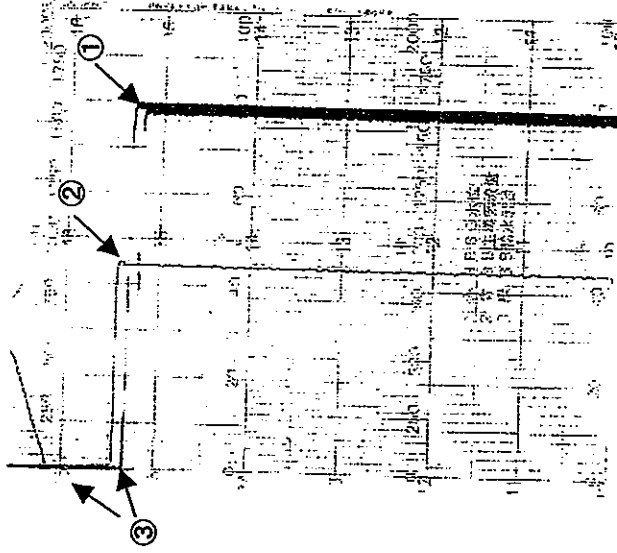
# 運転パラメータ

注: 記録計時間は赤ペンを基準で調整する。

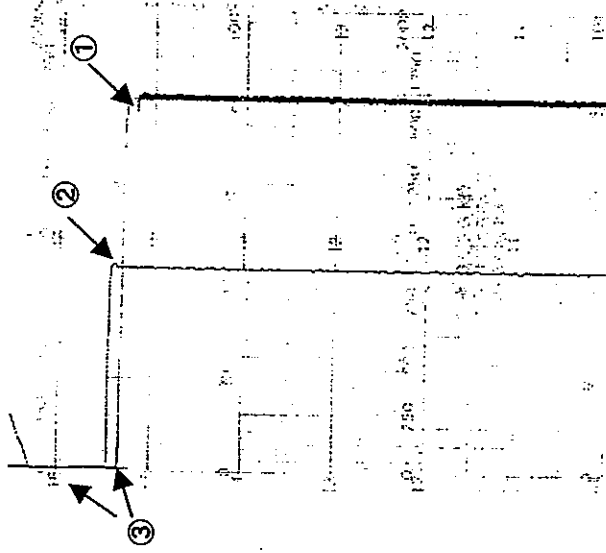
### A-SG関係パラメータ



### B-SG関係パラメータ



### C-SG関係パラメータ

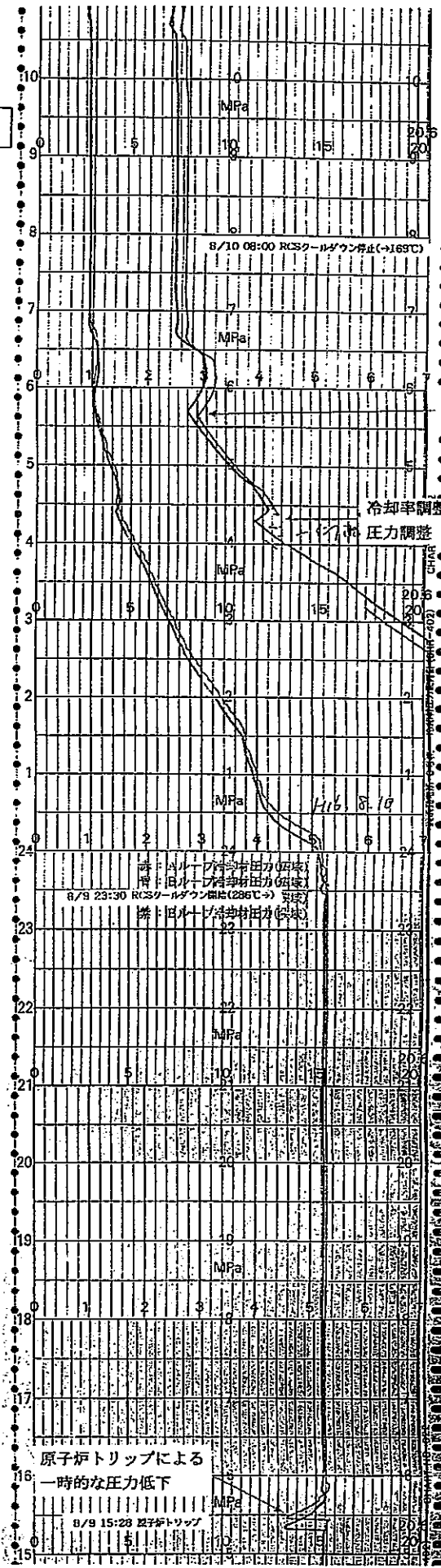
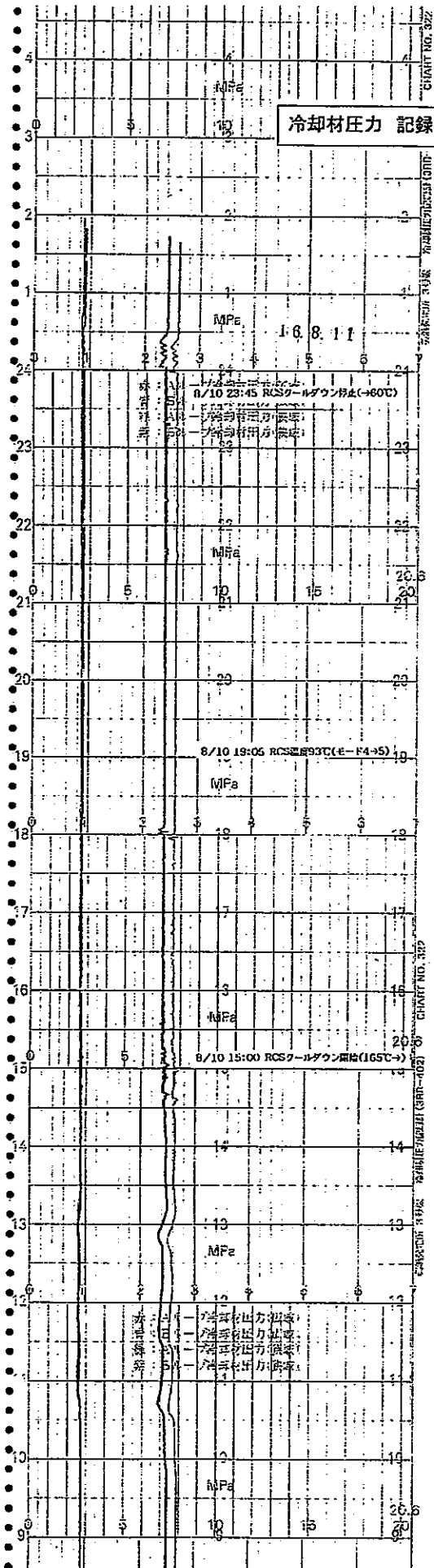


①緊急負荷降下に伴い、主蒸気・主給水流量が低下開始

②この後原子炉が自動停止、タービンおよび発電機が発電機が自動停止し、発電機出力が降下  
補助給水ポンプによる補給開始

③主蒸気・主給水流量計は約60t/h以下では指示をカットするよう調整しているため、AとB,Cで指示の差が発生している。

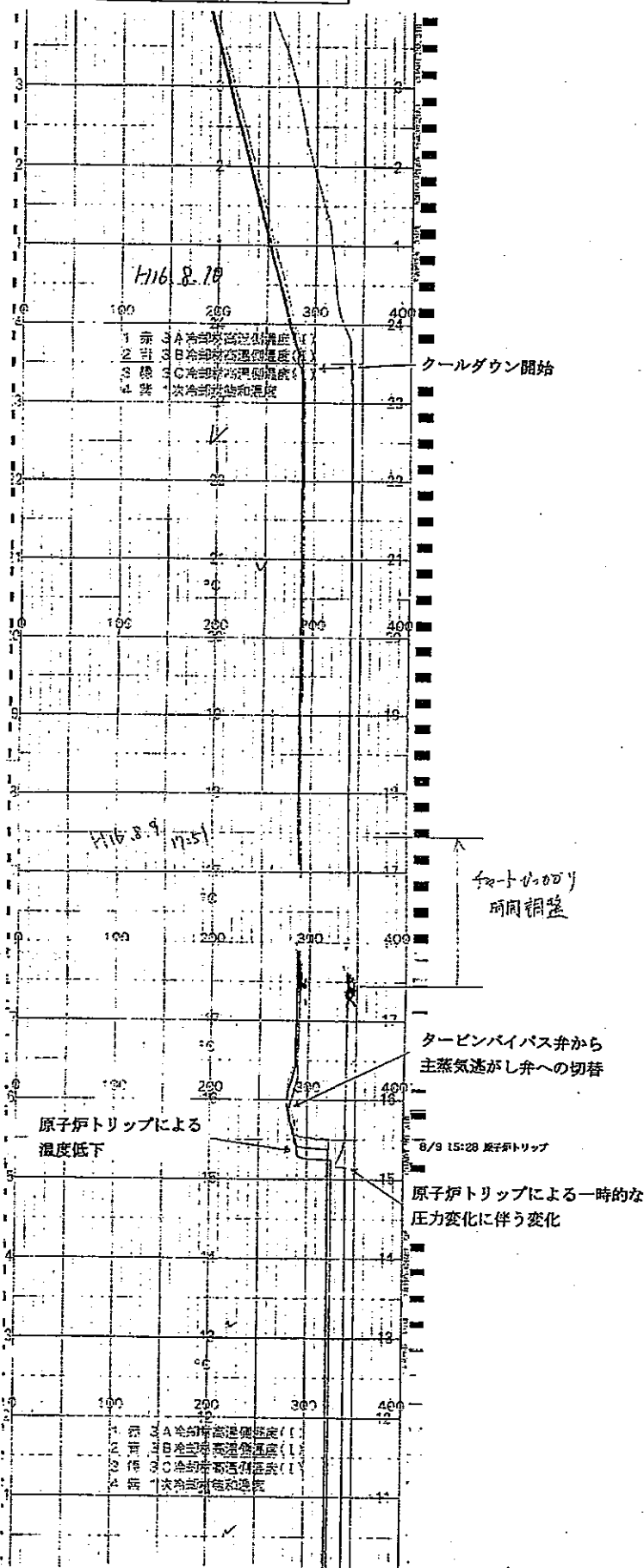
# 冷却材圧力



2

冷却材高温側温度

冷却材高温側温度 記録計



タービンバイパス弁から  
主蒸気逃がし弁への切替

タービンバイパス弁から  
主蒸気逃がし弁への切替

原子炉トリップによる  
温度低下

8/9 15:28 原子炉トリップ

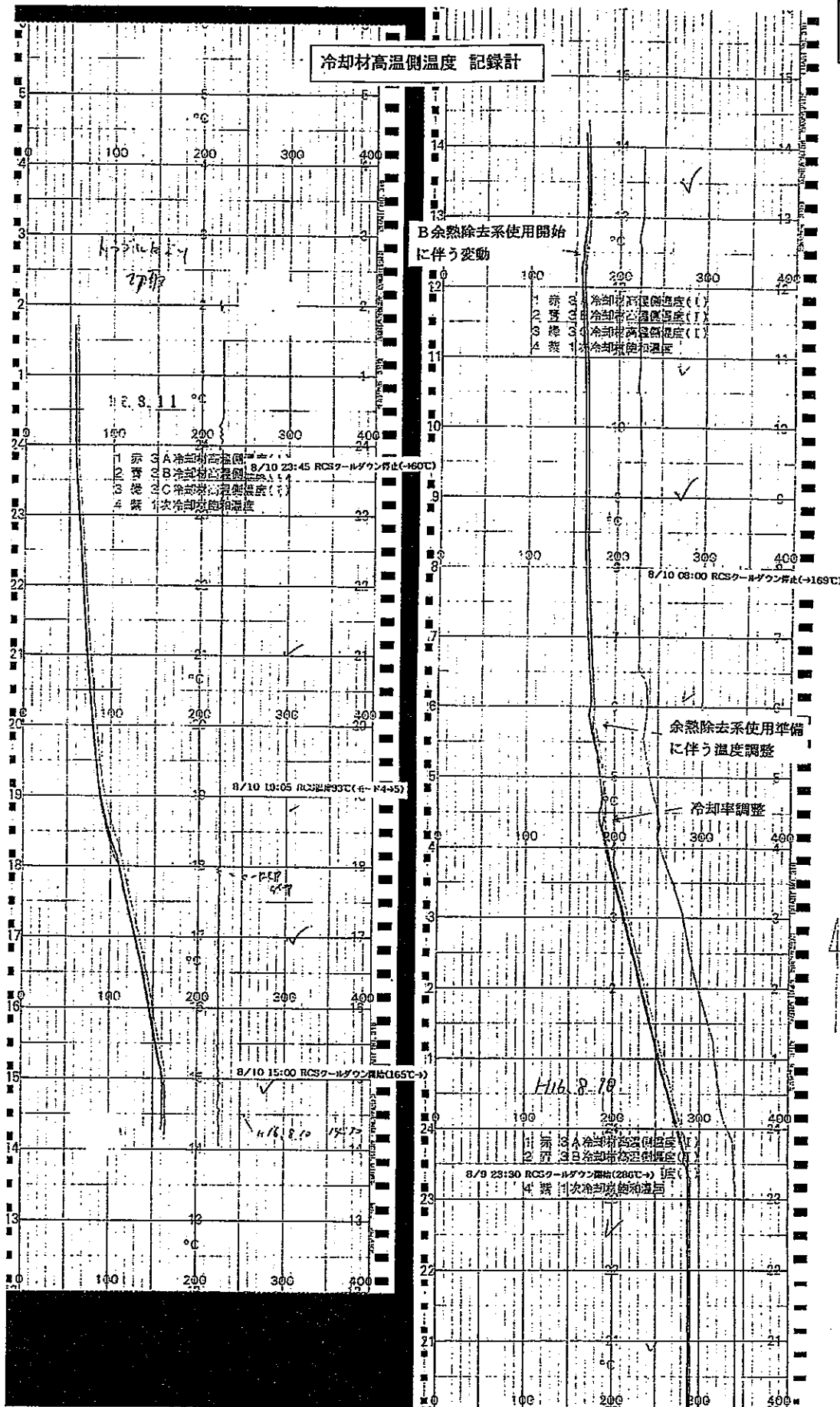
原子炉トリップによる一時的な  
圧力変化に伴う変化

- 1 号機 A冷却材高温側温度 (I)
- 2 号機 B冷却材高温側温度 (I)
- 3 号機 C冷却材高温側温度 (I)
- 4 号機 1次冷却材飽和温度

- 1 号機 A冷却材高温側温度 (I)
- 2 号機 B冷却材高温側温度 (I)
- 3 号機 C冷却材高温側温度 (I)
- 4 号機 1次冷却材飽和温度

冷却材高温側温度

冷却材高温側温度 記録計



B余熱除去系使用開始に伴う変動

- 1 冷却材高温側温度(I)
- 2 冷却材高温側温度(II)
- 3 冷却材高温側温度(III)
- 4 冷却材使用温度

余熱除去系使用準備に伴う温度調整

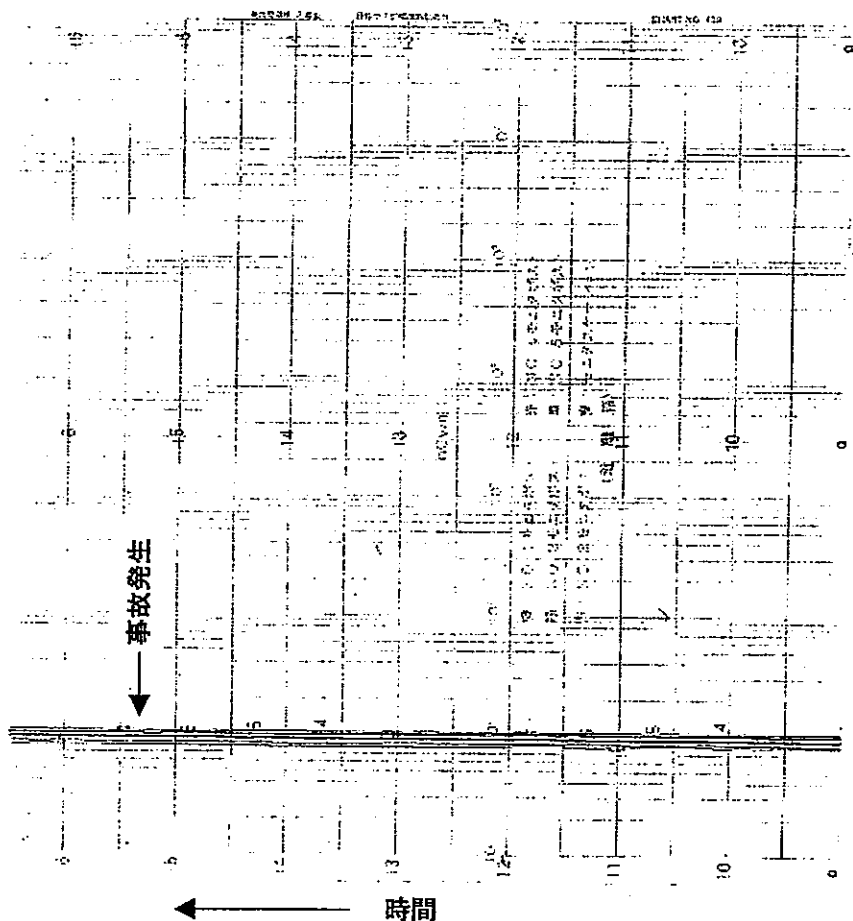
冷却率調整

- 1 冷却材高温側温度(II)
- 2 冷却材使用温度
- 3 冷却材高温側温度(III)
- 4 冷却材高温側温度(I)

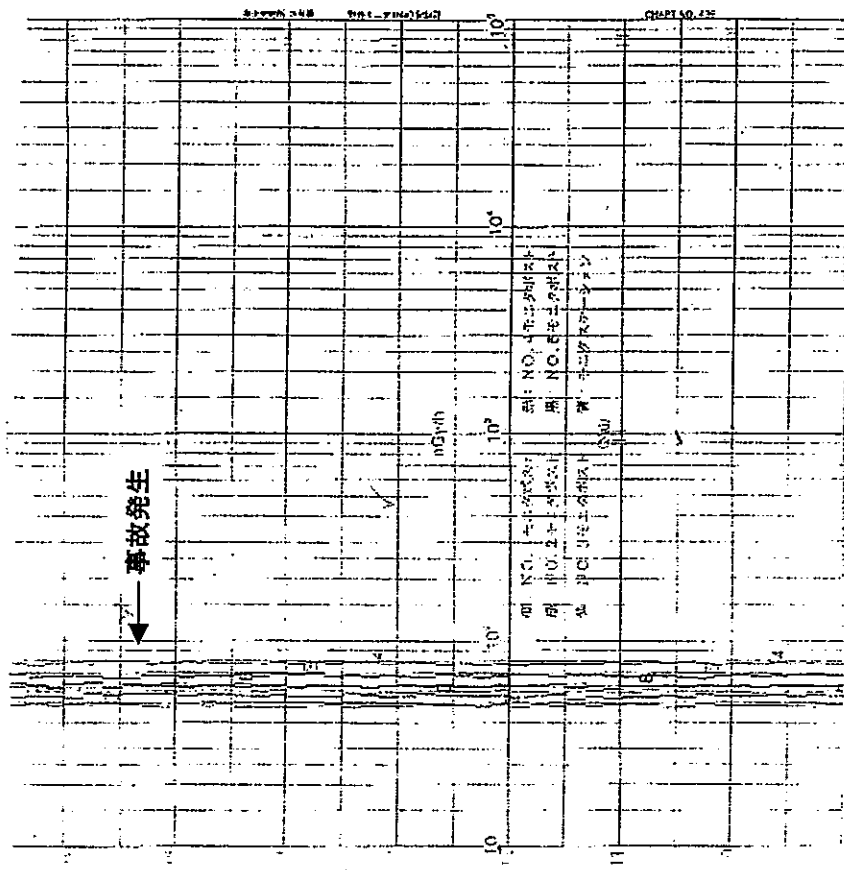
8/9 23:30 RCSクールドダウン開始(200°C-) 停止

注:記録計時間は赤ペンを基準で調整する。

### 野外モニタ(電離箱)



### 野外モニタ(NaI)

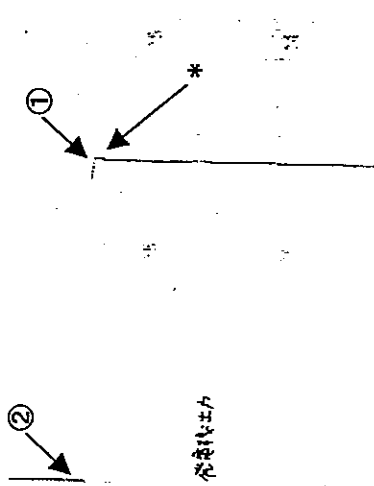


2次系復水には放射性物質は含まれていないため、野外モニタの指示値は変化なし

# パラメータ挙動の解説

注: 記録計時間は赤ペンを基準で調整する。

## 発電機出力

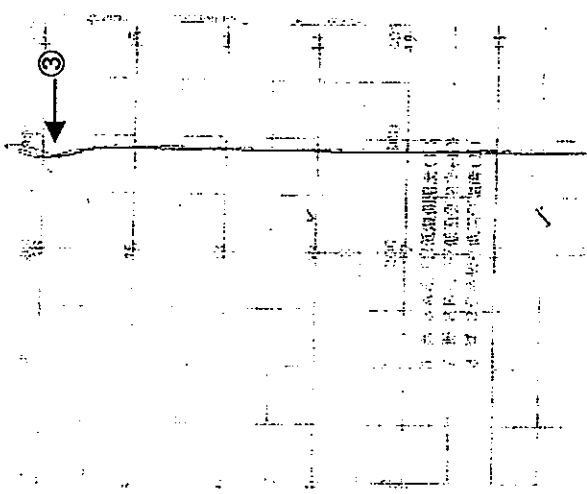


① 発電機出力一定運転状態から、(火災報知器動作以降)緊急負荷降下操作を実施

② この後原子炉が自動停止、タービンおよび発電機が自動停止し、発電機出力が降下

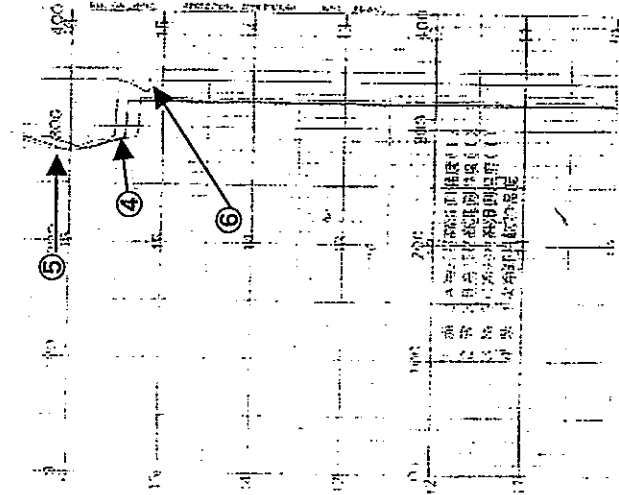
なお、\*で発電機出力が少し上昇しているのは、これは復水管からの漏れ発生により脱気器への補給水量が減少し、脱気器保有水温度が上昇したことによるものである。

## 冷却材低温側温度



③ 原子炉自動停止に伴う過渡状態で冷却材低温側温度が一時的に低下したため、主蒸気隔離弁を閉止及びタービンパイパス弁から主蒸気逃がし弁に切り替え、その後286°Cで安定

## 冷却材高温側温度



④ 原子炉自動停止に伴い、原子炉出力が低下したため、冷却材高温側温度が低温側温度と同程度まで低下

⑤ 主蒸気隔離弁閉止により、その後286°Cで安定

⑥ 原子炉自動停止に伴う過渡変化により1次冷却材圧力が低下したため、飽和温度が一時的に低下